

## 評価事例 7

|           |  |
|-----------|--|
| 単 元 名     | 第5学年 Unit7 Welcome to Japan.   |
| 単 元 の 目 標 | 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、好きな季節とその理由について、その場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができる。<br>「話すこと[やり取り]ウ」  |
| 言 語 活 動   | 外国の人に日本のおすすめの季節を紹介するポスターをグループごとに作る。互いの好きな季節を知るために、好きな季節やその季節が好きな理由などについて、絵カードを作成し、その絵カードを見せながら質問したり、質問に答えたりする。やり取りを基に、どのように絵カードを配置するか相談し、模造紙に貼ってポスターにする。 |

### 評価の進め方

児童を4つのグループに分け、グループ内で対面に座った児童同士でやり取りを行う。やり取りが終わったら、時計回りに席を1つ移動し、新たに対面で座った児童同士でやり取りを行う。教員とALTは、やり取りの様子を見ながら分担して評価をする。

### 評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|--|---|
| <p>〈知識〉<br/>季節や日本の遊び、年中行事などを表す語句や Why do you like ~? We have ~. What do you do ~? I usually ~. You can ~. の表現について理解している。</p> <p>〈技能〉<br/>好きな季節とその理由について、上記の語句や表現等を用いて、その場で質問したり質問に答えたりして、伝え合う技能を身に付けている。</p> | <p>自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、好きな季節とその理由について、その場で質問したり質問に答えたりして、伝え合っている。</p> | <p>自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、好きな季節とその理由について、その場で質問したり質問に答えたりして、伝え合おうとしている。</p> |

### 思考・判断・表現の判断基準

|               |  |
|---------------|--|
| A：十分満足できる状況   | 「B」に加えて、既習の語句や表現を使い、対話を続けるために、更に詳しく質問したり、質問に答えたりしている。            |
| B：おおむね満足できる状況 | 好きな季節について、相手の答えを聞き取り、その季節が好きな理由やその季節に行くことをその場で質問したり、質問に答えたりしている。 |
| C：努力を要する状況    | 「B」を満たしていない。   |

### 評価例 (S = 児童, T = 教員)

| Aとなる例  | Bとなる例   | Cとなる例  |
|--|---|--|
| <p>S1: I like spring.<br/>S2: Why do you like spring?<br/>S1: We have hanami in spring.<br/>S2: What do you do on hanami?<br/>S1: I see cherry blossoms and I eat hanami-bento.<br/>S2: <u>Do you like cherry blossoms?</u>①<br/>S1: Yes, I do. I like spring, too.②</p> | <p>S1: I like spring.<br/>S2: Why do you like spring?<br/>S1: We have hanami in spring.<br/>S2: What do you do on hanami?<br/>S1: I see cherry blossoms and I eat hanami-bento.</p> | <p>S1: I like spring.<br/>S2: ...<br/>T: 好きな理由を尋ねてみましょう。<br/>S2: ...?<br/>T: Why do you like spring?<br/>S1: We have hanami in spring.<br/>S2: What do you do on hanami?<br/>S1: ...</p> |
| <p><b>理由</b><br/>S2は、S1の好きな季節を聞き取り、その季節が好きな理由やその季節に行くことだけでなく、① Do you like cherry blossoms? と相手の答えに応じて、更に詳しく質問している。<br/>S1は、S2の質問に応じて、その季節を好きな理由やその季節に行くことを答えているだけでなく、①の質問に対し、② Yes, I do. I like spring, too. と更に詳しく答えている。</p>  | <p><b>理由</b><br/>S2は、S1の好きな季節を聞き取り、その季節が好きな理由やその季節に行くことを質問している。<br/>S1は、S2の質問に応じて、その季節を好きな理由やその季節に行くことを答えている。</p>   | <p><b>理由</b><br/>S2は、S1の質問を聞き取って、その季節が好きな理由を質問していないため、相手のことをよく知ることができない。<br/>S1は、S2の質問に応じて、その季節に行くことを答えていないため、自分のことが十分に伝わらない。</p>  |

「C：努力を要する状況」と判断した児童に対する指導や支援については、「指導・支援アイデア集」を参照

### 指導のポイント

- ・好きな季節やその季節に行くことなどをイメージマップやXチャートなどを活用したワークシートに書かせ、伝えたいことを整理する場面を設ける。
- ・ワークシートに整理して書いたことを英語で伝えるには、どのような語句や表現を知りたいか、既習の語句や表現をどのように使って話せば良いかを考えさせる。
- ・タブレット端末や学校図書館等を活用し、季節ごとの行事について、調べ学習をする時間を設ける。